

- 田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- 柳沢公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
- 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

- ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- 谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- 保谷駅前公民館 東町3-14-30 TEL 421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

西東京市にゆかりのある文化・芸術作品

文化の秋。西東京市にゆかりのある文化・芸術作品について調べてみました。市内のさまざまな場所が作品の舞台になっていました。いくつかご紹介します。

文学
田村隆一は戦後詩を代表する詩人の一人です。「保谷」と題した作品を残しています(思潮社現代詩文庫「田村隆一詩集」所収)。「保谷はいま/秋のなかにある」と始まる作品の最後では、偶然ですが現在の西東京市の木である「ケヤキの巨木」に言及します。

まんが
カラスヤサトシの「あおぼり物語」は、大阪から上京して東伏見駅近くに住み始めた、漫画家志望の青年を主人公とした連作4コマ作品。最近映画化もされました。

文学
中央図書館前の石碑の碑文は、釈超空の詩「田無の道」の冒頭です。「車やる田無のおら/青がすみ山になびけり」と歌います。釈超空は本名折口信夫。民俗学の権威で歌人としても高名です。「田無の道」は昭和24年に発表されました。

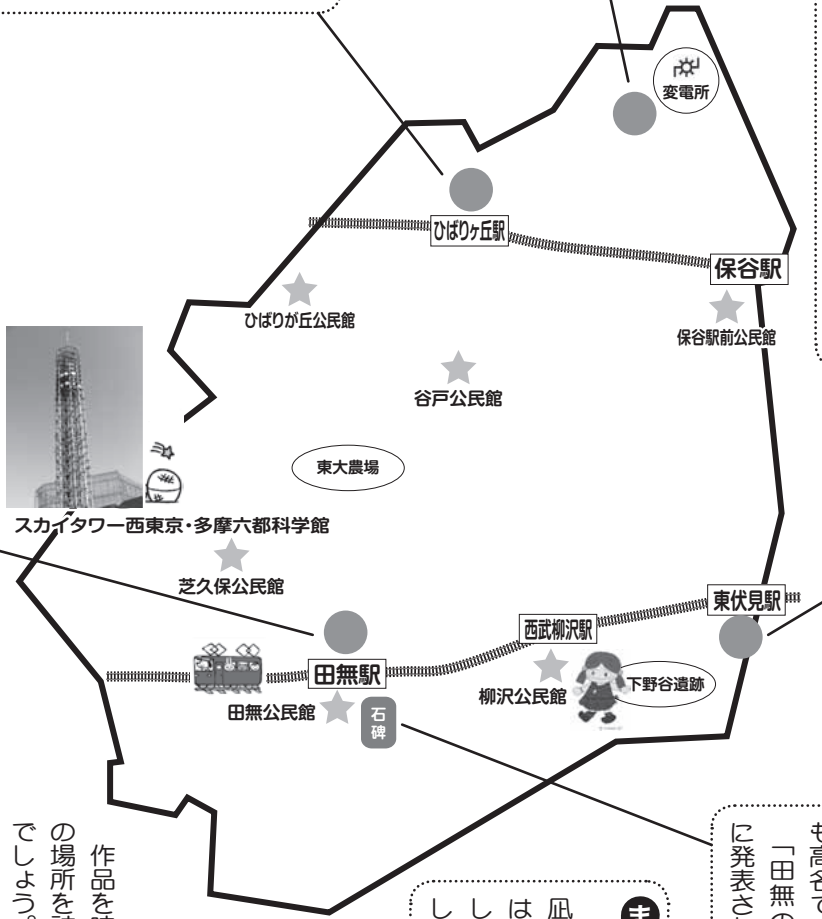
まんが
この史代の「タ凧の街 桜の国」では桜の国編の舞台として西東京市が登場します。

音楽
4人組ロックバンドのジューン・スカイ・ウォーカーズに「レッツゴーハリルズ」という曲があります。ひばりが丘駅界隈を舞台にした歌です。「レッツゴーハリルズ/俺の1等地」と軽快なアップテンポで歌います。

映画
「鉄塔武蔵野線」は銀林みのるの小説が原作です。日本ファンタジーノベル大賞を受賞しました。映画は長尾直樹監督。主人公の少年が、送電線の鉄塔をたどる冒険の中で成長していく物語です。始点が北町の交電所です。

文学

本喜正夫の児童文学作品『田の出マーケットのマーチ』は、西武新宿線の田無駅北口から「田」と書き出します。作者は「自分が、もしいこのマーケットの子どもの心にならなうたら、マーケット全体をよくなるために、仲間の子ども同士と、どうしていくだろう」と想像力をはたらかせて、阪本「タカ」といふ少年や、架空の町並みやマーケットをつくりだしていきました、と書いています。文中には『田無バザール横丁』など架空の商店名ですが、西東京市を連想する地名や商店名が数多く出ています。



作品を味わった後、ゆかりの場所を訪れてみるのも一興でしょう。
まだまだ他にも西東京市が登場する作品はあるようです。いずれ第2弾でご紹介したいと思います。

*みなさんからの「西東京市にゆかりのある作品」の情報をお待ちしています。公民館までお寄せください。

サークル訪問

フォークダンスで世界の旅 「チャールダッシュ」

ひばりが丘公民館で世界の民族舞踊を楽しんでいるフォークダンスサークル「チャールダッシュ」を訪問しました。

ロシアの民族衣装に身を包んだ会員。にこやかに手を取り合い、楽しそうにステップを踏んでいました。

全円のスカートでターンすると、裾がふわりと華やかに広がります。

チャールダッシュは、平成6年フォークダンスを長く踊っている友人が集まり、ハンガリーの踊りを楽しむ会として発足しました。

名前の由来は、ハンガリーの踊りの名前「居酒屋風の」という意味です。指導をお願いしている佐竹夫妻は、青年会や大学のフォークダンス部でダンスと出会いました。ハンガリーに暮らしながら学んだ、本場仕込みの踊りです。

代表の三田さんも、高校時代にフォークダンスの魅力に取りつかれ、今日を迎えています。練習では、長く踊り継がれているフォークダンスの曲やスウェーデンの踊りなど、曲目は世界を巡ります。訪問した日は、ロシアの名曲「ポーリヤンカ」を練習していました。躍動感のあるステップが印象的で、男性パートは、ロシア民謡特有の深く沈みこむ動作があり、運動効果も抜群です。

会員のフォークダンスに対する思いを訊くと
「若いときに始め、青春であ

り、生活の一部であり、恋人です」「刺繍を施した民族衣装を着たくて始めました」「年齢を重ねても、この衣装を着ると少女に戻る」などなど……

この会の魅力については「何と言っても佐竹夫妻が素敵!」「家族を介護しているので、この時間になると自分に戻れる」と、活動を楽しみにしている気持ちが伝わりました。

フォークダンスは、輪の中に入ることが第一歩。年齢を超えて、踊り楽しめるのがフォークダンスであり、他国の踊りを踊ることで、その国を理解する平和の橋渡し役でもあります。

取材当日は、西東京市の歌「大好きです、西東京」のマーチパレードをアレンジした踊りで歓迎してくれました。取材陣も同じ輪に参加し、踊り、爽やかな汗を流しました。

今後も西東京市で、この曲にあわせて踊る人の輪が、大きく広がることを期待します。
連絡先 三田 ☎423・5531

